This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- · TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

F-056

珍日本国特許庁(JP)

00 特許出願公開

⑤公開特許公報(A)

昭63 - 269509

@int,Cl.1

庁内整理委号

母公開 昭和63年(1988)11月7日

H 01 G 4/42

識別配号 311

6751-5E

審査請求 未請求 発明の数 1 (金4頁)

の発明の名称 貫通形高圧コンデンサ

> 爾 昭62-104944 **保出 顕 昭62(1987)4月28日**

②出 顋 人 松下電器遊業株式会社

大阪府門真市大字門真1006營地 松下電器座業株式会社内

大阪府門真市大字門真1006番地

弁理士 森本 義弘

1. 二つの電板側にプラスチックフィルムを少

1. 発用の名称 質量形高圧コンデンサ

2. 特許務求の箱間

なくとも一枚終在ませて集散輸外間に巻回した コンデンサ架子と、前記書取納の中空部を貫道 する貧酒導体を具備し、脱記コンデンサ素子の 一端から引き出した電瓶を館記費通媒体に電気 的に接続し、前記コンダンサ業子の乱増から引 き出した環施を、前記貫通導体が復気的に非接 独で貫通する贯通孔を有する時体をに電気的に

接続し、側記コンデンサ業子を創記導体板にエ ポキャ 新聞などの 絶縁物にて間宜した音楽形容

任コンデンサ。 8. 精明の鮮無な数弱

産業上の利用分野

本発明は、たとえば電子レンジなどのマグネト ロンにおいてノイズフィルタとして使用される貨 造形高圧コンデンナに関するものである。

大電力の電磁度が発用される電子レンジなどで は、周瞻に置かれた観気機器、なかでもテレビジ ョン受染機などに感影響を与える電路技の研放対 娘が必至の問題となっている。このような雑音を 断止するため、従来より各種のノイズフィルタ用 コンデンサが担塞されてきた。たとえば祭2回に 示すように、プレス底線し透射させて作つたセラ ミック材料が頻準体21として使用されている。こ の森会、誘戦体21は抗に二つの電瓶22A・22Bによ り上下から決まれた構造であり。周辺は絶縁形力 を高めるためエポキン製質などの絶縁物25が注型 成化されている。 :

発明が解決しようとする問題点

しかしながら、誘電体21のセラミックとその周 鎖の熱線機器との熱能要係数が弱なるため、ヒー トサイクル試験時などにはセラミックに大きな広 力が知わり、セラミックに割れやセラミックと絶 穀物28の発面に滎切が生じたりしてコンダンサの 慰定圧特殊が低下することがあつた。これを訪ぐ

特別昭63-269509(2)

本海県は、即花園種を解放するもので、ヒート ヤイク ~ 時の 格応力を 繰返し受けても 脳電圧特性 が低下しない 日澄彩 所任コンデンツを得ることを 目的とするものである。

問題点を解決するための手段

耐配剤調整を解決するために水発明は、二つの低 低間にブラスチッタフィルムを少なくとも一枚快 在させて春取執外期に参加したロンデンマ鉄子 取け、このユンデンマ鉄子の予取熱中型製化等 を資速し、ユンデンマ鉄子の一端から引き出し

もラミファを閲覧なとして用いた場合のように結 物物と砲機物との間に働く広力よりも値かで小さ くなつで、コンダンナ業子が別れたりするととが なくなり、まちには対面電磁桿の曲部方向のマー 対 肉種順間のプラスナフッフィルム原をき起発吸 に到らない所述の切みに設定して電弧とブラスナ フタフィルとを着倒すれば破虚とプラスナ フタフィルとを着倒すれば成虚とプラスト オルムの環境で始後倒がなるとか、異盟の胎 被物の影響によりコンダンナ業子内部の砲両間力 が低下するととはない。

以下、本発明の一族施例を内面に落づいて説明

項1 図は本発用の一次高例をかす資源形質任コ ングンすの前頭面関である。第1 図において、 資達除原任コンダンナー、Cの関連形質任コン デンナ1 は二つの電磁鉄、2Bの間にブラスチッケ フィルム 8 毎少なくとも一角状能なせて特別制を 別外局に参加した円筒状のコンダンマスを 他来のも多まプタを誘連体として词いたコンダ シャは、電気的ドトンスが初辺的には同間がなくけ 軽呼的に例正が低下して、セラミックが加えため、 とのセラミックと周囲の地域物との再面に版例を 生じたりして、コンデンナの地域側カンマでは、コ ングンツボテを二つの電面側にブラスキックラス ルムを少なくとも一枚接在させて参加した粉ざを 構造したため、コンデンサステラ風悪にエンデッ 構造しての影響がある。 本のではなどの影響がある。 本のではなどの影響がある。 本のではなどの影響がある。 をしたこの、コンデンサステラ風悪にエンデッ 男子と周囲の影響がとの間に微くな方は、従来の

し、このコンデンサ累テもの特取額4の中空系を 貫通して貫通導体をが設けられ、コンデンサポネ δの下端から引き出された一方の危極AAは貫通導 休日を電気的に非接触で食道する資源孔で3を有す る下部選体被でに、なとえば増化・単国付けなど の方法で電気的に接続されば定される。また、コ ンデンサ素子もの上類から引き出された他方の配 图28は上部群体報のにたとえば標序、単函付けな どの方法で電気的に接続され役定され、その上部 導体収8も貫通導体6に電気的に脱縮固定される。 こうした後に、終鉄器力の庇上や部沼体の向トル ためにコンデンマ栗子 6 と上部および下部潜体板 8、1の周囲をエポキン問題などの極級物を全民 題して外抜し、すらに下部啓体板 7.の下面刻には 外部ケース10が設付けられ、胃面媒体をと下無趣 体板1との側の絶縁補強を確実なものにしている。 また、上部海体板8より下方の貫通過は6の風 題にプラスチックやシリコーンゴムなどからなる 絶域チェーブ11を被関して、 まらに高級輸送を行 つている。

特問顧63-269509(3)

こくで、下部均は取りに促気的に反射を10元年 低いをコンプンサ智は形成のあとで、36に一瞬 低上移線し、その上に保護フィルムを勢回し、こ の電域54年下部均は低すを介して行地しておけば、 コングンマ業子6の外房紙の大部分が反地電位で マルド労曳り付き15年。

また、コンデンキ祭子6は二つの電極は、18.0 間にブラスキャフフィイルようを少なくとも一枚乗 まるせて輩出した場合は減をかるため、このデンデンキ 原子5 と見密の地は物のこの地に作用するの力は、他米のマラエフを誘電はよして思いたねかよりも振めてからくなつで、ヒード・アイクル時などにおいてもコンデン・実子6 が到れたりすることがなくなり、ま今に、電優が、1800 カージッとを必要な経難だけとつでおる、ブラスナックフィルようの厚さを他は収減に到らない、ボックフィイルようの厚さを他は収減に到らない、ボックの方に及定して収慮と、1802 大に切られてあると

構成のみで始は耐力が決まるため、周辺の複雑物 りの数値によりユンダンヤ衆子内部の絶縁耐力が 感下することはなく、フィルメ特性も従来のもの に比べて同等以上となり、良好な耐電圧特性を懸 待でまる。

以上のように本効器によれば、コンデンサ票子を、二つの環経階にブラスチャクライドルを少なくとも一枚挟在させて参加した保護としたので、

朗ヒートサイクル性が強く、充分なフィルタ効果を有し、皮肤な助理圧特性を凝糊した金く折しい 関連の真道影響圧コンデンサを供給できることになり、その酸塩的価値はまわめて大である。

▲ 図面の額申な数明

名割の登録

町1 図は本発明の一定期間を示す負債形高圧コンデンサの製剤配図。 額1 図は従来の莨込形高圧 コンデンサの製剤配図。 額1 図は従来の莨込形高圧 コンデンサの製剤面図である。

1…胃面形高圧コンデンサ、2A,2B…電話、8 …プラスナックフィルム、4…複取幅、8…コンデンサ系子、9…首直降体、9…下部将体位、7e

… 支達孔、8 …上部部体板、9 … 指続物、i1… 絶経+ユーブ。

代徵人 群本裁幺

特期昭63-269509(4)

